

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 本覚寺苑	代表者	理事長 三木啓康	法人・ 事業所 の特徴	法人は昭和 49 年に設立。特別養護老人ホームやデイサービス・グループホームに加え 居宅介護支援事業所や姫路市より委託を受け地域包括支援センターを運営。 地域密着型事業として、地域交流を含め、ご利用者の能力に応じた調理や園芸などの趣味活動等を展開し、住み慣れた地域と自宅での生活が継続出来るよう支援している
事業所名	小規模多機能 ホーム花田	管理者	奥田和真		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1 人	2 人	2 人	1 人	1 人	1 人	2 人	人	10 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認			認知症など利用者やその家族の 状況など個々に異なる状況の中 で情報を収集し支援に取り入れ るよう前向きな姿勢がみられた	
B. 事業所の しつらえ・環境			事業所内において利用者に合わ せた休息場所をいくつも設けて おり、居室での静養も含めて柔軟 に提供している。また防犯上の観 点からも玄関口の施錠は必要	
C. 事業所と地域の かかわり	地域に根差した福祉事業所とし て、気軽な相談窓口であることを PR していく	ホームページ及び広報誌などで 日頃の様子を写真などを通し報 告している他、いつでも相談でき る旨を記載して PR している	更なる地域に根差した事業所と なるよう、地域の集い等、百歳体 操の場への参加や掲示板等職員 が来てもらい PR の場を拡大して はどうか	さらなる地域に根差した事業所 となるよう、広報誌及びホームペ ージでの活動状況に加え、地域での 活動の場への参加や回覧板を通 し、地域の相談場所である事を PR していく
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み			これまで正月や秋祭りなどの地 域行事への参加などを通し、地域 交流の場の確保が図れており、こ のような貴重な交流の場をこれ からも確保してほしい	
E. 運営推進会議を 活かした取組み			運営推進会議の場で、事業所の活 動状況の報告のみならず、会議内 で出た意見（和室にこたつを設置 してはどうかなど）が活かされて おり利用者支援につながってい ると感じた	

F. 事業所の 防災・災害対策	BCP において事業所・法人で作成した内容を運営推進会議にて公表し、地域代表者からの意見を聴取していく	運営推進会議にて BCP 資料の配布及び説明しており、その際に地域からの意見聴取や事業所での取り組みについて説明があった	今後も地域や施設の状況などにより BCP の内容も変化していくものと思われることから、定期的な BCP の内容の確認及び必要に応じた見直しの機会などにも運営推進会議の場で共有できればと思う	運営推進会議等において BCP の報告などを行い、地域及び事業所の情報共有を図り、有事においてさらなる備えをしていく
--------------------	---	--	--	--

スタッフ個別評価・様式	実施日	R6 年 12 月 25 日
1. 初期支援（はじめのかかわり）	氏名	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？				

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	4	8		
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？		5	2	
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	2	10		
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？		12		

できている点	・送迎時 利用者家族と話す機会がある際 自宅での様子を聞くように心がけるようにしている。 ・利用開始前、事前に朝礼や情報ノートが用意されているので共有されている ・基本情報はご利用前に必ず目を通すよう心掛けている。 ・定期的な家族等との面談時に意向を含め確認出来る場を確保している ・利用開始時など本人の様子を観察し、安心できるよう声掛けにて信頼関係を築いていけるよう努めている。 ・利用開始前には情報収集を行い、申し送りノートにて基本情報を職員間で共有し朝礼時や全体会議で周知を図っている ・朝礼時や職員会議時において、情報共有を図ると共に、基本情報がファイル化しているので確認し把握に努め、ニーズに沿うよう支援している ・孤立や不安感がないように、目配り気配りを行いコミュニケーションを図ると共に、必要に応じて声かけを行っている ・職員による送迎や家族による送迎の際、また必要時に電話連絡を行った時に、話を聞く機会がある ・事前情報はファイル等で共有出来ているし、通い始めはお互い慣れていないので特に気をつけて声かけや気遣いをしていると思う ・朝礼時に新しい利用者については管理者から報告がある。 ・送迎時、家人と話ができる時は行ったりしている。 ・利用前に基本情報を確認し朝礼時管理者からの情報等を聞き情報共有を図っている ・利用初回時はご本人の様子を見ながら声掛けを行い見守りを行っている ・家族からの要望等は連絡ノートを活用したり会話の中から聴き取りその都度朝礼時に共有し支援に繋げている ・利用者用と職員用の申し送りノートを別にし職員全員が周知できるようにしている ・送迎時に家族と話す機会がある時はお話しして少しでも花田での様子が伝えられるようにしている ・家族の不安などは管理者から家族の情報を聞きどういう支援をしていくかなどの説明を聞いている ・家族の立場になり物事を考えている
--------	--

できていない点	・業務に追われると関わりが手薄になってしまう。 ・訪問だけの利用の方がどんな感じの人なのか、記録だけではわかりにくい。 ・御家族との信頼関係を築けているか不安な時がある。 ・来ていないとは思わないが、家屋や介護者は初期支援としては本人よりも後回しになってしまっている ・情報共有するようにしているが、休み明けで把握できていないこともあったりする ・ご本人の希望が聞き取れず、望んでおられる支援が行えていないように思う ・連絡ノート、朝礼時の王仕送り、送迎時等に家人より希望や不安な点等の情報を得て、職員間で共有している ・技術的な面など、タイミングがなかなかわからない事も多く、私で力になれるのかなど考えてしまう
---------	---

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）	・職員と入れ違いとなったり、その利用者さんの話ができていないから。 会えば聞く様にはしている。 ・なかなか お会いできないご家族もおられ 電話でのやり取りはさせていただいているが ・表情が分からない為、伝え方などが適切であったかなど心配になることもある ・本人の支援に気が行ってしまう、家族や介護者は後になってしまっているから ・時間に余裕がない時などは、支援が必要な方に時間をとられ自立されている方との関わりがもてていないと思う ・利用者によっても状態など、たくさんの正解があり、悩んでしまうので、経験を積んでスピーディーに動けるようになる
-------------------------	--

スタッフ個別評価・様式	実施日	年 月 日
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	氏名	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？				

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	5	7	
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	1	5	
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		5	6	
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	2	7	3	

できている点	・何にでも積極的に取り組んでももらえる方には、色々な事を促すようにしている。 ・楽しんで取り組んでもらえていると思う。 ・その利用者の出来る範囲の事や得意な事を探して取り組んでもらっている。 ・スーパーの広告や脳トレプリントなどを通して利用者さんの好きなものや ・興味のありそうな物のヒントを探すよう心掛けている。 ・介護計画チェック表を通して、その人がどういう支援やケアが必要か知り、日々のケアに支援しています ・介護計画の目標に沿い支援を行っている。また、毎月実施した事を振り返り、必要であれば見直しを行っている ・支援内容や関わりとして上手くいった事等は会議だけでなく、普段から職員間でも話したりして共有し活かしていると思う ・利用者や家族自身がゴール設定に関わってもらう事や支援する職員へも設定に関わってもらい周知している ・介護計画の目標に沿って支援を行うようにしている。全体会議で目標の見直しを行っている。 ・ケアプランをもとに支援を行っている、その都度気がついた事、ご本人からの聞き取りなどを共有し～したのにつなげれるようにしている ・本人が希望される作業など興味を持たれそうな作業を促している ・本人の意思がはっきりされている方には対応できている ・利用者が興味のある取り組みを職員と共に行っている
--------	--

できていない点	・出来ている利用者と出来てない利用者がある。 ・実際に取り組まれる時もあるが、中々出来ずに目標から遠のいてしまっている場合もある。 ・なかなか ご自身からの発信がない方の したいことや 好きなものがわからない事がある。
---------	---

- ・本人の目標(ゴール)は把握しきれていない
- ・意思が伝えられない利用者は「～したい」が聞き取れず本人の意向に沿っていないと思う。
- ・その日の利用者様と全くかかわりがもてない日もあるので時間を見つけて関わりをもつようにしたい
- ・意志疎通の難しいかたは、～したいがくみ取れているのか分からない
- ・基本情報のみで交友関係等の暮らしぶりなど知らない部分が多くある

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）

- ・本人の身体や認知能力が下がったり、家庭環境などの変化でできない場合もある。
- ・コミュニケーション技術不足でなかなか会話を広げていけないところがある為。
- ・何を促してもイヤな顔をされたり、しようとされない方には声をかけずらい為。
- ・日々変わる本人の動向で支援方法も変わるので、ゴールよりも目の前のことでいっぱいになっている事がある
- ・重たい利用者に手がとられているため、できていないと思います。
- ・職員が業務に追われて関わりをもてていない
- ・話が出来方と関わる事が増え、認知症の方で反応がない方との関わりが少なくなっている
- ・コミュニケーション不足

スタッフ個別評価・様式

実施日

年 月 日

3. 日常生活の支援

氏名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？				

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		2	10	
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	3	8	1	
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		11	1	
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	3	9		
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1	7	1	

できている点

- ・送迎時などでいつもと違う様子、状況の時、報告し他職員と情報の共有が出来ている。
- ・利用者の体調の変化は職員同士、情報共有しその時々にあった支援をみんなが出来ていると思う。
- ・朝礼や記録などで職員間の周知ができている。
- ・毎日のかかわりの中で いつもと何か違うな…などといった違和感を感じたときは
- ・他職員報告し違う目でも確認してもらっている。
- ・利用者のその日の様子や体調を把握し変化があれば他職員と共有し管理者に報告し指示を受けています
- ・ご利用者個々のADL機能に沿った支援を行ってはいるが、入浴支援時において時間配分を考慮しながら行っている事もあり、過剰介護に陥る時がある (②)
- ・ご利用者の体調や気持ちに変化があれば、職員間で周知し、状況に即した支援を行っている
- ・体調変化等気付いた特には職員間で共有し、支援の仕方を相談出来ている
- ・家族からの情報は朝礼時報告行い職員間で周知している。
- ・体調の変化を伝達し、状況に応じたケアを実施している。
- ・その方にあった食事、入浴、排せつの支援を行っている その日の状態や家族からの要望などについてはその都度情報共有行っている
- ・介護日誌やケアケースにて記録を残し、報告おこなっている
- ・家族には連絡ノート、送迎時、電話連絡等で情報共有行っている
- ・訪問にて安否確認が出来る
- ・必要な支援を可能な会議理行う
- ・会議や朝礼の場以外でもチーム内で情報の共有を図っている

できていない点

- ・以前の暮らしは知る機会がない為 分からない事が多い。
- ・記録にあがっていない細かいところまではわかりにくい

- ・利用者さんの気持ちの変化に十分に寄り添えていないところがあると思う。
- ・以前の暮らし方が10個以上把握できていない
- ・以前の暮らしを10個以上把握はできていない
- ・利用者全員の「以前の暮らし方」10個以上の把握はできていない。
- ・以前の環境や暮らし方は10個以上把握できていない
- ・自宅での様子が全く分からない
- ・本人の声にならない声を言語化出来ていない

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・自宅での様子は こちらからは踏み込んで聞きにくい家族がある ・職員によって意見や感覚が違うので、実際に関わって読み取り、職員間で意見を情報共有する必要がある。 ・日々の業務の中で転倒の恐れがある方など見守り優先の方に目がいってしまい
ゆっくりコミュニケーションを図る時間が取れない方もいるため ・コミュニケーションを図る中で情報はあがるが10個までに至らない ・意志疎通が困難な方や、ご本人とご家族の関係性も様々であり、以前の生活について全ての ・ご利用者の10個以上の把握はできていない ・昔の話よりも、現在や少し前の話をする事が多いから ・利用者とのコミュニケーション不足のため ・ご本人からの聞き取りができない ・声にならない声を聞きとろうとしていない ・外出機械がコロナ禍で少なくなったため |
|--|

スタッフ個別評価・様式	実施日	年 月 日
4. 地域での暮らしの支援	氏名	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	
地域に根差した福祉事業所として、気軽な相談窓口であることをPRしていく	

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	2	5	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		6	6	
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1	10	1	
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		7	4	
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		4	4	4

できている点	・貼り絵でポスターを作成し窓にはりPRできている。 ・家族と家でどのように過ごしているのか、できるだけ送迎時訊ねるようにはしている ・訪問支援の中で自宅内での利用者さんの様子を観察し少しでも日頃の様子を知れるよう心掛けている ・施設において行事や取り組みなどをブログや広報誌などによりご利用者の日々の様子をご家族にお知らせしている ・基本情報ファイルの確認と、ご本人やご家族から可能な限り聞き取っている ・連絡帳の活用でご家族記入欄の確認や、送迎時におけるご家族からの報告もあり在宅生活の把握を行っている ・本人と家族等との関係が切れないような支援や家で本人がどのように過ごしているかは話の中からくみとれるよう努力している ・ホームページのブログに行事の様子を掲載している。広報誌でも施設での様子をお知らせしている。 ・訪問時や送迎時に自宅の中まで支援する方は、なんとなく自宅の様子が見える ・会話の中で人間関係や生活スタイルなど聞きとれるように努めている ・朝礼などで管理者からの情報や送迎職員からの情報を共有している ・送迎時や連絡ノート等で日中の過ごし方を知るように心がけている ・関わり始めの時や、状況などが変わった場合を含めて関係性や資源を確認している
--------	---

できていない点	・特に独居の利用者は施設利用されていない日の様子は把握できていない。 ・それでも把握しきれてない事が多い。 ・家族関係は基本情報としてある程度理解しているが、どのような人と交友関係があり ・どのような暮らしをしてこられたか知らないことがたくさんある。 ・これまでの生活スタイルをなかなか理解できていない時がある ・直接接していない時は、連絡ノートの家族欄で教えてくれることもあるが、家族欄の記載がほとんどない
---------	--

ためわからないです。

- ・事業所以外の本人の過ごし方は把握できていない
- ・把握できていない

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）

- ・認知症の方は本人から日常の様子を聞き取れないし、家族から話をしてくれないとこちらからは聞きにくい。
- ・夜間の家での生活もあり家族も全て把握していないのと、プライベートな会話でもあるので
- ・家族とも信頼関係を築く必要がある。
- ・コミュニケーションの中で一歩踏み込んだ会話が出来ていないから。
- ・話をしてくれる方は家での過ごし方や昔のことを話す機会もあるが、なかなかそれが難しい人もいる為
- ・家族と話す機会がない利用者の方もいるため
- ・ゆっくり会話ができていないその場の会話しか出来ていない

スタッフ個別評価・様式	実施日	年 月 日
5. 多機能性ある柔軟な支援	氏名	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？				

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	1	8	2	1
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	2	10		
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	3	9		
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	3	8	1	

できている点
・家族のニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」の提供が出来ていると思う。 ・担当職員に変化があれば共有するようにし、担当から会議などで話してもらっている。 ・状況に応じて今必要な支援を可能な限り提供できているように思う。 ・安否確認のための 短時間での訪問など。 ・ご利用者やご家族の状況に応じて柔軟に通い訪問宿泊を組み入れサービスの提供を行っています。 ・ご利用者の状況を聞き取ったり、連絡ノートや電話などで確認し職員間で情報の共有を行っています ・ご本人の変化や状態については、日誌に記載を行うと共に申し送り時や職員会議時等で共有し支援を行っている ・ご本人の状態やご家族の状況に応じて、急な受け入れでも対応行っている ・ニーズに応じてサービス提供は適切に行われており、利用者の変化等は都度話し合って情報共有できている ・本人の変化があれば、介護日誌や夜間日誌で記載し、報告している。 ・家族の要望で、宿泊・通い・訪問を可能な限り受け入れしている。 ・家族の状況に応じて急な支援にも対応行っている通い利用から宿泊対応など ・体調変化などその日の状態を職員で情報共有し支援に繋げている ・安否確認は宅配給食などを活用し、送迎時、訪問時に食事、服薬の確認を行っている ・「今日泊まるなんか聞いてないけどな…」等の発語あるも「今日泊まりでお願いします。楽しみです」に変化がみられるケースが多くみられるようになった ・得られたニーズの周知から支援への展開時において事業所のみで解決しようとせずに地域システムを確認し必要な情報の共有を図っている

できていない点
・事業所以外と直接の支援はできていない。 ・利用者の思いではなく 家族の都合での施設利用になっているかたがいる。 ・地域の資源が把握できていない

- ・長期期間宿泊を利用されている方において外出する機会や外部との関りが少ない。
- ・地域の資源を使っの支援は出来ていないように思う
- ・地域の資源を使っているたの把握をしていない
- ・本人のニーズに合っているのかわからない

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）

- ・全てのサービスを知らない為、その人に関わっている一部の資源やサービスだけしか知らない為。
- ・感染予防の為 外出機会が減っているため
- ・どのような地域の資源があるか把握できていない為

スー⑤

スタッフ個別評価・様式	実施日	年 月 日
6. 連携・協働	氏名	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？				

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	3		8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1		1	9
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	4	1	5
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	1	1	9

できている点	・年2回消防訓練を行っている。 ・秋祭りなどで地域の方とかかわらせてもらっている。 ・訪問看護を利用されている利用者さんが増え 実際電話でのやり取りやノートでの記録を確認し今までより多職種との連携が身近なものになっているように思う。 ・年2回地域の消防署の協力を得て消防訓練を事業所で行っています。地域の秋祭りでは職員も練子として参加しています ・ご利用者が利用されている訪問看護との情報共有を図っていると共に、必要時において指示を仰いでいる ・地域が開催の、作品展に出品 ・お祭り等のイベントには参加させてもらっている ・夏の作品展に参加できている。秋祭りにも参加できている。 ・訪問看護、医療機関、福祉用具等の連携は行っているが、会議には参加した事はない ・事業所としては秋祭りに参加したり、お正月に御霊天神社にお参りして地域の方との交流は行っているが私は参加できていない ・支援開始時や展開時、変更時などを含め関わりを持つこととしており、地域との関係機関とも可能な限り活動する機会を持つようにしている
--------	---

できていない点	・地域住民との交流は全くない ・会議やイベントに参加できていない ・地域のイベントごとに参加する機会はありません。 ・その他サービス機関との会議には参加出来ていない ・時間帯にもよるが、職員配置上難しい事もあり参加できていない ・地域の人や子供が事業所を訪れたりはないし、会議にも参加していない ・自治体等の会議には参加できていない。
---------	---

- ・駐車場で数回、子供たちの声を聞こえたりしたが施設内には入ってこないから。
- ・会議に参加していない
- ・子ども会もなくなり事業所に来られることがなくなった
- ・職場内の研修のみ

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策などもあってリモートの会議が主になり、参加人数の制限もあるから ・秋祭りなど大きなイベントは実施されている事を知っているが ・地域での取り組みなどをあまり知らないから。 ・会議に参加する機会が少ない ・機会がないからだと思う。特に地域住民が事業所の来られるのは用事がある時くらいで気軽に来てもらえるような事を出来ていないから ・時間帯が難しくて参加できていない。 ・夏の作品展・秋祭りの時、仕事が休みだった為、参加できていない。 ・会議に参加していない ・子ども会もなくなり事業所に来られることがなくなった ・秋祭り以外活動があまりない |
|--|

スタッフ個別評価・様式	実施日	年 月 日
7. 運営	氏名	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	
BCP において事業所・法人で作成した内容を運営推進会議にて公表し、地域代表者からの意見を聴取していく	

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	4		1

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	2	8	2	
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	11		
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	7	2	
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？		9	1	2

できている点
・ 家族からの意見があった場合、朝礼時などで報告し申し送りノートで情報共有できている。 ・ 何かあれば相談するようにしている ・ 御家族より何か意見等があった際は、他職員や管理者・主任へ報告共有している。 ・ 定期的に運営推進会議が行われ、ご利用者も交えて意見交換を行い運営に反映させています ・ 職員会議時や面接時において、意見等の確認は行っている。またそれ以外の時でも、意見を聞く機会はある ・ 送迎時において、ご家族からの要望や意見等があれば持ち帰り、朝礼時に共有を図っている ・ 運営推進会議で出た意見等については、職員会議時に報告行い職員間で共有行っている ・ 地域が行っている秋祭りに参加している ・ 自分の意見を聞いてもらえる環境にある ・ 家族からの意見や苦情があった場合、職員間へ報告行って、苦情解決にむけて職員間で取り組んでいる。 ・ 全体会議で意見が言える時は言っている。 ・ 会議においてBCPの取り組みを全職員で共有し、職員間で検討しマニュアル作りをすすめている ・ 会議に参加していない ・ 子ども会もなくなり事業所に来られることがなくなった ・ 苦情や意見があった場合は管理者や主任に報告するようになっている ・ 朝礼や会議時以外も隙間時間などにおいて意見の取り入れを図り、その意見の採用を行う事や、支援展開時に発生した苦情についても共有するようにしている

できていない点
・ 地域からの意見、苦情は地域との関わりがない為わからない。 ・ 地域の意見や考えがよくわかっていない ・ 自分の意見は出来る限り発信しようと努力はしているが、まだまだ足りない所がある。 ・ なかなか地域と協働した取り組みは行えていないと思う ・ 地域との交流がないからです

- ・会議に参加していない
- ・子ども会もなくなり事業所に来られることがなくなった
- ・なかなか意見発言できていない

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）

- ・実際に会って聞いていないから。また自分から聞きにいったないから。
- ・自分に自信があまりもてない為。
- ・職員として地域の取り組みにどういうものがあるのか把握していないから
- ・会議に参加していない
- ・地域との交流の機会が少なくなっている
- ・自分自身に自信がないため

スタッフ個別評価・様式	実施日	年 月 日
8. 質を向上するための取組み	氏名	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？				

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	3	8	1	
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	5	3	3
③	地域連絡会に参加していますか		1	3	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	11		

できている点	・認知症のリモート研修に参加した。毎月の職員会議で研修を行い参加できている。 ・リスクマネジメントはヒヤリハットで職員間で周知し振り返りできていると思う。 ・月1回の会議の時に職員、施設内の研修をおこなっている。 ・ヒヤリハットがあった際は、他職員と共に再発防止案を考え再発防止に努めている。 ・ヒヤリハットなどを職員間で共有し、対応策を考えて事故のないよう改善に取り組んでいます ・研修担当職員を配置し、年4回実施すると共に、外部やスキルアップの為の研修については自身も含め他職員にも促進し参加している ・年1回リスクマネジメント研修を行っている。ヒヤリハット報告書に挙げられている改善点を共有し、リスク回避に向けた支援を行っている ・職場内の研修はしっかり参加できている ・リモート研修に参加している。 ・職場内の研修に参加してスキルアップを図っています。 ・職員研修の担当をしているため年4回の研修と年2回の消防訓練、風水害訓練を行っている ・法人内研修にも参加している 法人外の研修にはリモートで年に1，2回参加している ・リスクマネージメントは会議で話し合ったり、ヒヤリハット、事故報告書をもとに同じことを繰り返さないように再発防止に努めている ・月1回職員会議にて研修を行っている ・積極的に研修等については参加を図り、時間の都合上外部研修に参加が困難な職員については他の職員が研修で学んだ事を職員会議時等において説明し、周知を図る事により可能な範囲でのインプットの場の確保を図っている
--------	---

できていない点	・地域連絡会に参加できていない ・職場外の研修に参加する機会はあるがなかなか自発的に参加出来ていない ・地域連絡会に参加していません ・資格取得しようと思うがなかなか集中して勉強が出来ていなかったりする。
---------	--

- ・リスクマネジメントに取り組んではいるが、気が緩んでいる時に事故等が起こってしまっている。
- ・地域連絡会に参加していない。
- ・参加できていない
- ・スキルアップのための研修に参加できていない
- ・資格はとっておきたいが年齢なので

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）

- ・よくわかっていないから
- ・自分の行動力がないため。
- ・参加する機会がないため
- ・事故やヒヤリは少しくらい自分が見ていなくても誰かが見ているから大丈夫だろうという気の緩みから起こっていると思うが、時間が経てば忘れてしまっている事がある為
- ・地域連合会がある事を知らなかった

スタッフ個別評価・様式

実施日

年 月 日

9. 人権・プライバシー

氏名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？				

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	身体拘束をしていない	12			
②	虐待は行われていない	11	1		
③	プライバシーが守られている	4	7	1	
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	7		2
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	8		

できている点

- ・身体拘束、虐待は行っておらず個人情報の管理もできている。
- ・個人情報は機密書類として破棄している
- ・虐待や身体拘束はチーム全体でも意識し、行われていない。
- ・個人を尊重しその人のペースで支援出来るように心がけています
- ・身体拘束は行わず、虐待もしくはそれを疑われるような言も行われていない
- ・プライバシーに配慮している。
- ・個人情報の管理は十分に気を付けている。
- ・身体拘束、虐待は行われていない 研修を行っている
- ・入浴時は脱衣場、浴室はカーテンで仕切りプライバシーに配慮している
- ・個人情報に注意するよう努めている
- ・身体拘束や虐待は行っていない
- ・定期的な虐待防止及び権利擁護に関する研修を事業所内で開催し、その予防を図っている

できていない点

- ・脱衣室で入口にカーテンがない為 扉を開けると扉側が見えてしまう。
- ・プライバシーが守れていないときがある。
- ・血圧や体温も個人情報であるため気を付けようと話があったが、フロア内で他者に聞こえる声で行ってしまっていることがある。
- ・職員会議時で年1回研修を行い、再周知・確認を行うとともに、日々それらを行わないケアを実践している
- ・現状において活用はしていないものの、今後活用される方や以前利用されていたご利用者が活用されていた

- ・個人情報の取り扱いには十分配慮しており、破棄を行う際にはゴミ収集業者による機密書類専門容器に入れ破棄を行っている
- ・プライバシーを守るように努力はしているが、情報共有を職員間で行う際に声が大きくなってしまったり、と気をつけないといけない場面がある。
- ・プライバシーには気を付けているつもりだが、大きな声で、「お手洗い行きましょうか」といっている事がある。
- ・トイレ使用时ドアを開けられる方がいる
- ・職員の会話で気をつけているが、大きい声が出る時がある
- ・入浴時やトイレ使用时など転倒や目が離せない方には配慮が足りていないところもある

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）	
---------------------------	--

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・職員の声が聞こえてしまい、利用者さんの耳に入り不安にさせてしまう時がある。 ・排便状況など、職員での情報交換時に聞こえてしまう。 ・排泄の有無もそうであるが無意識のうちに他職員へ伝えてしまっていることもあり
気を付けなければいけない。 ・声が大きくなってしまうのは、気が緩んでしまっている事もあるし、個人情報である事が頭から抜けてしまっているからだと思う。 ・意識しないまま、利用者と大きな声になってしまっている。 ・無意識に職員間内で排便の有無を大きな声で伝えてしまっている時がある |
|--|